

日本のモノづくりの今後

09/11/26(木)
18:00~

～ メイド・イン・ジャパン・プロジェクト内閣府認証事業説明会と
現代のモノづくりに必要な〇〇と〇〇と〇〇とは？

NPO法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクトがお送りするセミナーのご案内

❁ テーマ

モノが売れない時代が長く続いています。果たして本当に売れないのでしょうか？全国には日本製で売れているものはないのでしょうか？今回はこの命題に日経デザイン編集長の下川さんをお招きし、日本全国のものづくりの現場、販売の現場で何が起きているのか？今後、ものづくりメーカーはどうすればいいのか？を具体例とともに紹介していただきます。そして日本のものづくりの具体的な今後の展望をお話いただきます。

❁ スケジュール

- 第1部 メイド・イン・愛知・プロジェクト発足事業説明会 18:10～18:40
メイド・イン・ジャパン・プロジェクトとメイド・イン・愛知からの事業説明会です。(鶴田会長・北村理事長)
- 第2部 日経デザイン下川編集長によるセミナー 18:40～19:50
下川編集長に、注目の日本製のプロダクトと、商品開発から販売までの活動内容から今後の日本のものづくりに必要な考え方(商品から販売まで)やデザインとのかかわり方をお聞きます。
- 第3部 asahinekoプロジェクトのはじまりとこれから 19:50～20:40
下川編集長に本プロジェクトのデザイナーである村澤一晃氏とものづくりメーカーの方々をまじえて、ものづくりとデザインのかかわりを活動内容とともに、asahinekoプロジェクト参加メーカーの人々とお話いただきます。

※) セミナー終了後、懇親会の予定をしております。当日窓口にてご確認ください。尚、懇親会への参加については、参加費(3,500円程度)を別途必要になりますので、予め御承ください。

- 日時: 2009年11月26日(木) 18:00受付 / 18:10開始
- 会場: 名古屋市都市センター (金山駅すぐ、ホテルグランコート名古屋のビル14Fです) <http://www.nui.or.jp/gaiyo/map.html>
- [〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル内 tel (052) 678-2200(代)14F特別会議室
- 参加費: 正会員 1,000円 / 一般・準会員 2,500円
- 申込締切: 2009年11月24日(火) 必着

- ・ 会場の席数に限りがございますので、定員になり次第締切らせて頂きます。予めご了承願います。
- ・ 詳細はウェブサイトでご確認願います。[<http://mijp.jp>]

参加ご希望の方は、下記申込みフォームにご記入の上、拡大してファックスにてご返信願います。また、会場変更などのご連絡をする場合がありますので、電話番号、メールアドレスは丁寧に記入ください。

FAX: 052-324-2630 TEL: 052-339-3260 e-mail: info@mijp.jp

□ 事業説明会(18:10～18:40) □ セミナー(18:40～20:40) □ 懇親会(21:00～22:30)(会費別3500円)

氏名(フリガナ)

職業(勤務先・学校名)

連絡先住所(□ 勤務地 / □ 自宅) 〒

TEL: FAX: e-mail

下川編集長、村澤一晃氏にご質問等あれば、ご記入ください。

業種 □ 生産者 □ デザイナー □ ショップ □ ビジネスパートナー □ 一般

- 企画・運営・お問合せ先 : NPO法人 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト / 担当 富田
tel: 052-324-2630 fax: 052-339-3260 e-mail: info@mijp.jp
- 主催: 特定非営利活動法人 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト
- 締切: 2009年11月24日(火) ■ 参加費は当日受付にてお支払い下さい。

講師の紹介

下川 一哉氏 日経デザイン編集長 <http://nd.nikkeibp.co.jp/nd/>

1963年、佐賀県生まれ。1988年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年、日経マグロービル(現・日経BP社)入社。1999年より日経デザイン副編集長。2008年より編集長。デザイン情報番組「Design Channel」(テレビ東京、2006年4月から2008年6月まで放映)のコメンテーターも務める。2006年度特許庁「デザインの開発・管理・保護・出願戦略に関する調査研究委員会」委員、2007年度・2008年度中小企業庁「JAPANブランド育成支援事業採択審査委員会」委員・同推進委員、2007年度特許庁「地域中小企業等意匠権活用調査」委員、2008年度・2009年度特許庁「意匠出願動向調査・マクロ調査」委員、2008年度経済産業省産業構造審議会臨時委員・知的財産政策部会意匠制度小委員会委員なども務める。2008年から2009年にかけて、石川県、福岡県、佐賀県、沖縄県、三重県ほかで「伝統工芸・地場産業とデザイン」をテーマに講演多数。2008年12月に仏パリ、2009年5月に米ニューヨークで開催される「感性—Japan Design Exhibition」のキュレーションも務める。



今回は、日本のものづくりの展望とデザインのかかわり方を事例をもってトークセッションします。日本のものづくりの成功方法を具体的に説明したいと思います。

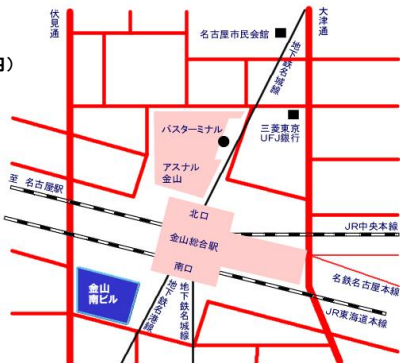
Asahinekoプロジェクトとは・
<http://asahineko.jp/>

メイド・イン・ジャパン・プロジェクトは、岐阜県中津川市付知町の木工技術と、木曾五木といわれる地元の針葉樹を生かした新たなキッチンウェアの商品開発プロジェクト「asahinekoプロジェクト」に、2008年より取り組んできました。このプロジェクトは、作り手である「木工メーカー」、デザインを開発する「デザイナー」、売り手である「ショップ」が一体となった活動であり、今までの商品開発プロジェクトとは一線を画すものです。

今回のセミナーでは、「メーカー」、「デザイナー」、「ショップ」という異業種の方々にお集まりいただき、asahinekoという商品を通して、生活をより楽しく、豊かにするためのデザインについて語っていただきます。



村澤一晃氏 <http://www.murasa.wadesign.com/>
「デザインは生活や行動のすべての中にある」を信条として、机で図面を描くのがデザインではないことを実践するデザイナー。今回のプロジェクトの本当の姿を語っていただきます。



★会場HP

<http://www.nui.or.jp/gaiyo/map.html>